



中国大連理工大学の国際化

—中国の大学の国際化を踏まえて

大連理工大学

李 篠平

2012.3.28

一.中国の大学の国際化

○1978年～2007年、外国への中国人留学生は106.7万人。うち27.5万人は帰国。

例：2005年度の国家自然科学賞の第一取得者は73.7%、中国科学院の81%のアカデミー会員、国家教育部所属の大学のリーダー的人物は80%、大学の博士指導教官の2/3は留学帰国者。

○現在、世界184カ国や地域および国連と協力関係を結んでいる。

○孔子学院の誕生、中国語と中国文化の教育機関。世界に200校、日本には12校。

日本の大学にある孔子学院一覧

NO	設立年	設立大学名	提携校
1	2005年	立命館孔子学院	北京大学
2	2006年	桜美林大学孔子学院	同濟大学
3	2006年	北陸大学孔子学院	北京語言大学
4	2006年	愛知大学孔子学院	南開大学
5	2007年	立命館アジア太平洋大学孔子学院	北京大学
6	2007年	札幌大学孔子学院	広東外語外貿大学
7	2007年	大阪産業大学孔子学院	上海外国語大学
8	2007年	岡山商科大学孔子学院	大連外国語学院
9	2007年	早稲田大学孔子学院	北京大学
10	2008年	工学院大学孔子学院	北京航空航天大学
11	2008年	福山大学孔子学院	上海師範大学・対外経済貿易大学
12	2009年	関西外国語大学孔子学院	北京語言大学

一.中国の大学の国際化

1.大学の国際化への挑戦

①外部世界からの挑戦

- 外国の大学は中国で優秀学生の争奪戦を展開。
中国の高等教育は厳しい国際化の挑戦に直面。

②対策

- 先進国の一流大学と提携、シラバス、カリキュラムを改革。
- 教員同士の相互派遣を推進。
- 外国の研究機関と共同研究を展開。
- 大学生を外国へ留学に派遣。
- 外国人教員の招聘制度・留学生の受け入れ制度を改革。

二.大連理工大学の国際化

1.大連市の紹介

- 大連市は大陸から渤海と黄海の境目に着き出した遼東半島の先端にある。
- 680万人、「世界で最も安全な都市」に選ばれる。
- 日本と文化的に似ている、住みやすい街。
- 日本人学校、日系銀行など生活に必要な環境が整えられ、日本語を話す人材が豊富。
 - 日本留学から帰った中国人が多い。
- 主な産業は石油化学、造船、現代設備製造、電子産業基地と物流。

二.大連理工大学の国際化

1.大連市の紹介

- 1984年から外資の進出が本格化。外国企業 13,168社、日系企業 4012社。
- 各種金融機構が2270ヶ所、150カ国と地域と 決済ネットワークを築いた。
- 外資金融機構は21社、外資保険会社は2社、 外資保険会社の事務所は5社有して、東北地 域で外資銀行が一番集中する街。
- 外国語、特に日本語のできる人材がよく求め られている。

星海広場



大連の女警



大連市人民政府



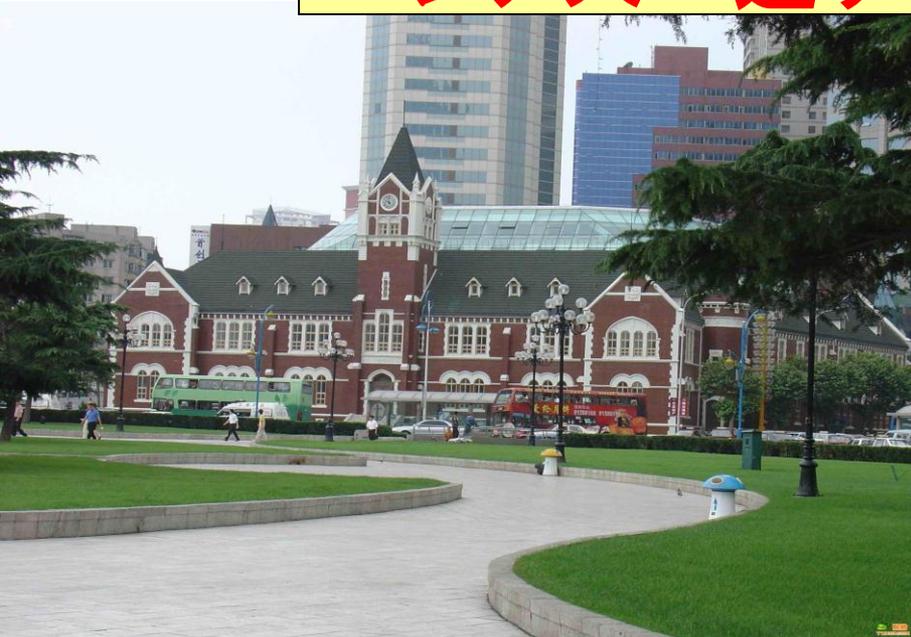
友好広場



街の中心部



ロシア人一通り



住宅団地



大連にある大学

○大連には24の大学

大連理工大学、大連海事大学

大連医科大学、東北財経大学

大連科技大学、大連交通大学

大連水産学院、大連外国語学院

大連大学、遼寧師範大学

大連民族学院、大連工業大学

海軍大連艦艇学院、東軟信息学院など

二.大連理工大学の国際化

2.大連理工大学の紹介



正門



体育館





二.大連理工大学の国際化

2.大連理工大学の紹介

- ・ 1949年に成立した国立大学。理学と工学を中心に経済、管理、文学、法学などの文系も設立された総合的な重点大学。
- ・ 22の学部に60の専攻と4つのダブル学位があり、学生は成人教育を含めて8万人。
- ・ “211プロジェクト” と“985プロジェクト”に指定された大学。
- ・ 「21世紀に求められる複合的なエリート人材を育てる」のは目標。

211プロジェクト

1993年、21世紀へ向けて社会発展の中で生じる問題を科学技術力によって解決できる専門人材の基盤を構築することを目標に、100校前後の大学と重点学科を集中的に整備していくことを決定。1995年に国家プロジェクトとして正式に始動。2010年2月、112の大学が対象校に指定。

985プロジェクト

世界一流の大学の構築を目指す国家プロジェクト。北京大学、清華大学等の一部の優秀な大学に国家予算を集中的に投入。2010年2月まで、39校が対象校。

二.大連理工大学の国際化

3.教育の国際化

教育の質を高め、国際的にもレベルの高い大学教育システムを作るために、教育拠点を開設、共同運営を行い、外国の先進的な教育理念と管理制度、プログラム設置、教育内容・方法を直接に導入。

A.学者や教授を招聘、教育・管理へ参加。

B.外国語の授業や専門科目を担当、院生を指導。

二.大連理工大学の国際化

C.外国の大学に教員や学生を派遣。国際意識の養成は目的。

2008年～2010年、50の国家と地域に長期留学教師や学生、短期留学生を3500人派遣。学生の交流活動は5種類、50項目、2008年から1400名の学生が外国の大学へ留学に派遣。

二.大連理工大学の国際化

D.留学生受け入れ体制の整備

○留学生センターの設立。

○1993年～2011年、70カ国から5000名留学生を受け入れた。

○現在、650人在籍。日本人留学生は70名ぐらい。卒業後、日系企業に就職する人が多い。

二.大連理工大学の国際化

E.国際化基金が設立

2006年「大連理工大学国際化基金」を設立。

A.海外学者の短期来訪、大学教員の海外研修、学会の参加支援、国際シンポジウムの主催および協定大学の学生来訪支援に専用経費。

留学生奨学金制度も設立。

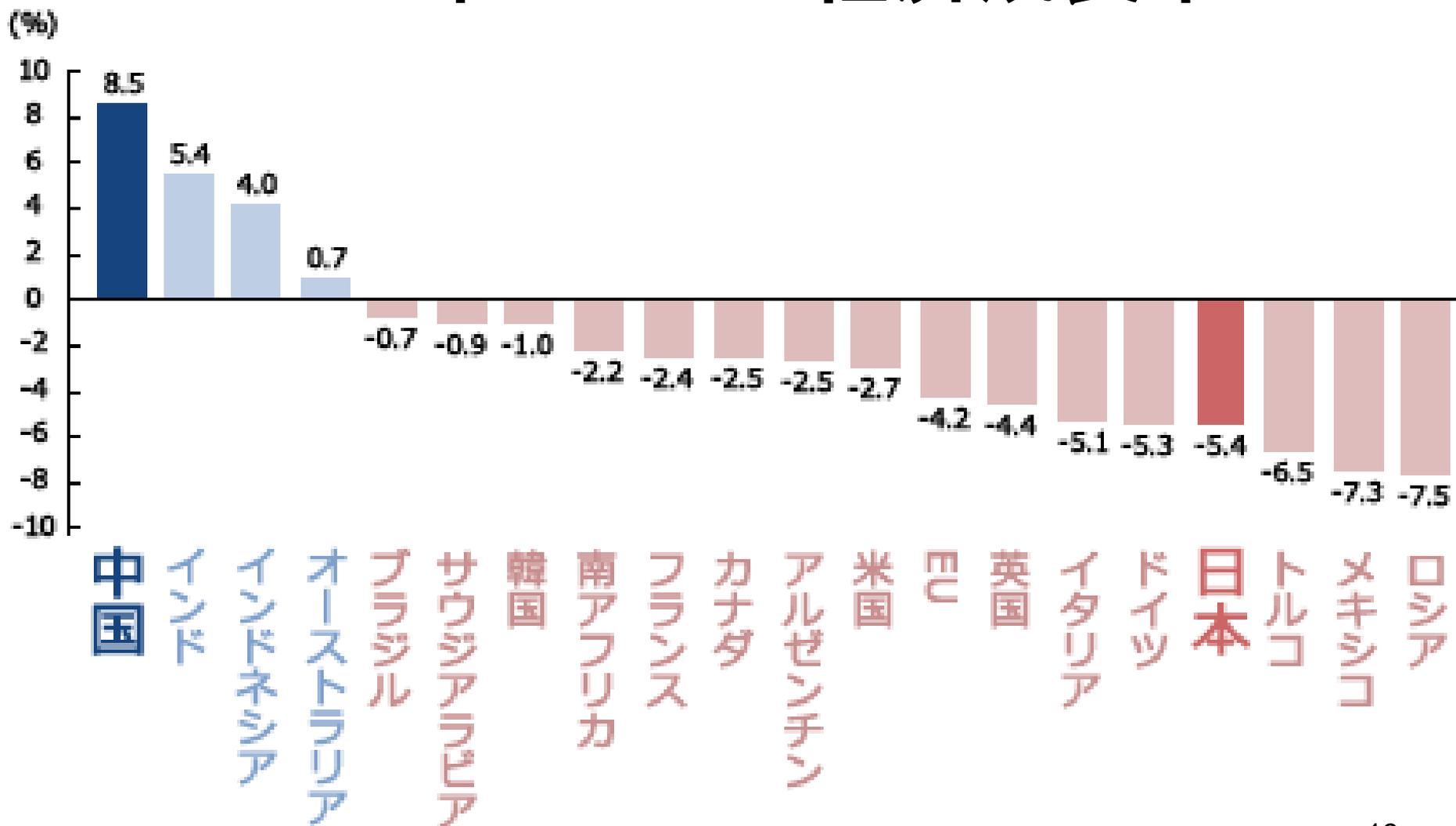
B.国際交流基盤を作り、外国の大学と教育・研究資源を分かち合い、協働枠組みを構築。

二.大連理工大学の国際化

4.今後の課題

- 教授同士の共同研究の展開と共同研究の長期化
- 協定校の退官教授同士の交流
- 留学生の相互派遣制度のアンバランス
中国語のできる日本人が少ない

2009年のG20の経済成長率



中国語ブーム

- 中国語を学ぶ人口は約4,000万人。
- 欧米での中国語学習者も急増、フランス語・スペイン語に次いで3番目。
- 日本でも中国語の学習人口は200万人を突破。
- 日本企業が海外進出を進め、海外拠点の設置・運営に必要な人材が約7割不足。
- 今後の海外拠点の中国への進出、そのための人材確保に中国語のコミュニケーション能力の高い人材が求められる。
- 能力の評価指標として、大学の入学者選抜基準や卒業条件、企業の採用・昇進・昇格基準として活用される機会もますます多い。

二.中国の大学の国際化

5.国際化についての展望

○温家宝総理によると

「国運の興亡は教育にあり、一流の教育があ
一流の人材が生まれ、一流の国が建設され
る」

○先進的な教育理念を確立、伝統的観念と体
制の束縛を打ち壊し、大学の運営体制、教育
内容、教育方法、評価方式の面で大胆な模
索と改革を行っていく

ご清聴

ありがとうございました。
